

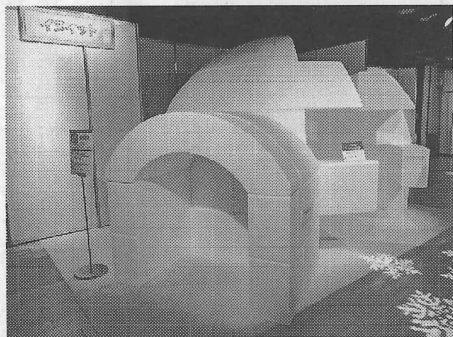
JEPSA

EPS製造形物を提供

開16日まで
催 北極・南極展に協賛

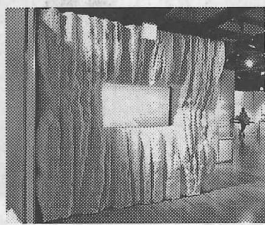
発泡スチロール協会（JEPSA）柏原正入（会長）は、玉川高島屋・C（東京・世田谷区玉川）で7月22日から開催されている「南極・北極展」真夏の二子玉川に氷と雪の世界がやってきた！に協賛し、発泡スチロール製の造形物を提供したほか、第1次南極観測隊が建造した昭和基地

左はパフォームンスシヨの様子、左下はEPS製イグルー、下は向氷山



に実際使用されたEPS断熱材を展示している。JEPSAは発泡スチロール製のイヌイットの雪の家「イグルー」の実物大模型や「氷山」に見立てた壁面などを提供し

た。30日には発泡スチロール大使のハップウくんのパフォームンスシヨやクイズイベントが行われ小学生など多数が来場



し盛況となったほか、JEPSA特製のノベルティグッズが来場者に配布された。

イグルーは第一フォーム（横浜市都筑区／澁谷正明社長）、氷山の製作はM&M（東京・世田谷区／下田雅敏社長）が製作したもの。

このイベントは、毎年高島屋が行っているもので毎年テーマが変わる。今年も南極昭和基地の開設60周年にあたり、企画制作会社のザイヤ（東京・目黒区／在原義男社長）が企画したもの。同展は今年16日まで開催されている。